

株式会社 維研

所在地:愛知県江南市河野町一色 120

事業内容:カーテン生地、インテリア織物、自動車シート生地の製造販売

TEL:0587-57-3555



中・高級車向け自動車のシート地生産を開始

カーテン生地、インテリア織物の製造販売業。カーテンは既成カーテンを 40%製造していたが、生産拠点が中国等海外へ移ったため現在は製造していない。当社の「ジャガード織物生産管理技術」を活用し、2005 年に中・高級自動車(車種例:エスティマ等)のシート生地の生産を開始した。

業況等の動向について

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

『売上げの減少に歯止めをかける』とともに『事業の柱をもう 1 つ作る』ことが最大の理由である。事業展開先として大きく国内・海外の 2 区分で検討、過去の経験などから技術漏洩・契約違反等の問題を回避するため海外展開は断念した。進出市場を国内に絞ったのち進出分野を改めて検討したが、その際に基準としたのは以下の 3 点である。

生産ボリュームが見込めること

既存技術(高密度ジャガード織り)を改良すれば進出可能であること

高付加価値が認知されること

結果、日本の基幹産業である自動車(中・高級車用のシート地)産業を新たな進出分野に定め、参入時にはマーケティングも行った。具体的内容はモーターショーや自動車販売店(ショールーム)へ出向き、ターゲットとしている中・高級車に現在利用されているシート地の研究である。なお、この研究は現在も継続して行っている。

参入して最も成果のあったこと及び最も困難だったこと

成果としては高付加価値化の結果、平均売価が 1m あたり 470 円前後から 670 円前後に高くなったことが挙げられる。これは製品品質の向上による取引先層(中堅企業から大手企業に口座開設が出来た)の変化、提供素材が高級品に使用されるようになってきたことによってもたらされた結果でもある。また社内に目を向けると良い製品(生産者である自分たちが欲しいと思える製品)が作れるようになってきたため社員の士気があがり、離職率の高かった若年層社員の定着率も向上してきている。一方で参入にあたって困難だったことは、既存事業を守っていただけでも大変な状況な中、新規事業に対して人材や時間、資金が思うように割けなかったことである。

業況等について

業況についてはやや不調で、過去 10 年間の長期的な売上は減少傾向である。売上高は 13 年前に比べ約 3 分の 1(20 億円/1997 年 7.1 億円/2010 年)にまで落ち込んでいる。しかし、直近 2 期の売上を見ると横ばいから今期は前期比 106~107%と増加に転じる見込みである。

新規参入事業に絞ってみると、現在、売上高は 7,000 千

円(売上高構成比 1.0%)と、こちらも業況的にはやや不調である。原因としては 2008 年のリーマンショックを始めとした景気後退の影響による製造シート地のターゲット車種である中・高級車の販売低迷が大きい。しかし、最近になりエコカーで採用が決まり 2011 年 12 月より生産に入る予定があるため低迷していた新規参入事業の売上は好転すると期待している。(取材時点:2011 年 11 月上旬)

今後の展望・見通し

今後は拡大方針をとる予定であり売上ベースで年 10%増を目標としている。生産技術的には十分なレベルまで来ていると認識しているため、まだまだ存在するであろう衣料、インテリア織物、自動車シート地分野でのニッチトップな分野・商品を開発し進出していきたいと考えている。

メリット・デメリット

メリットとしては技術の向上はもちろんのこと、社員の士気向上が大きい。デメリットは開発リスクが高くなることである。

異業種参入時のアドバイス

既存事業から大きくかけ離れた事業に展開しないことが大切である。加えて既存事業(基幹事業)にも技術革新等でフィードバックできる新規事業を考えるべきである。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度

中小繊維製造事業者自立事業

(中小企業基盤整備機構)他

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

単体の中小企業で考えるのではなく、同業種間、川上川下、異なる技術を持った企業間などでの企業 M&A で強い中小企業(中小企業から中堅企業)を作るための支援を考えて欲しい。

会社概要

設立:昭和 43 年

資本金:1,500 万円

従業員数:39 名

URL: <http://www.aiweb.or.jp/konan-tex>